

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年5月31日

提出区分	実績	整理番号	19	課題区分	C		
横断的な課題	安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり						
地域重点政策	安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり					南信州地域振興局	
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	総務管理課県民生活係	
事業名	消防団員募集事業				電話	0265-53-0402	
					E-mail	minamichi-kenmin@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	団員確保を促進し、消防団が活動しやすい環境づくりを進める					
	現状と課題	<p>1 消防団員は全国で年々減少しており、当管内でも年々減少が続く。特に若年層の団員構成率が減少しており、30代以下は4割程度 (管内消防団員数 R5:2,386人、R4:2,508人、R3:2,618人、R2:2,742人、R元:2,816人)各年度4月1日現在</p> <p>2 消防団員確保のためには若年層を中心とした働きかけが必要</p> <p>3 人口減少、住民同士のつながりが希薄化する中で、退団者に対し加入する団員が少なくなっている中、コロナ禍により勧誘活動も制約があり確保が困難な状況。団員だけでなく自治会役員に協力を依頼し、勧誘も行っている。</p> <p>4 市町村によっては、消防団員に対して商品券の配布や結婚祝い金制度などを取り入れている団体もある。</p> <p>5 県では、消防団応援ショップ事業、消防団協力事業所知事表彰などを通じ消防団活動を応援し、協力していただいている事業所に対してイメージアップが図られるよう取り組んでいるほか、消防団協力事業所に対して、応援減税や入札加点など優遇措置を実施している。</p>					
内容 (変更後の内容)	内容	<p>しあわせ信州創造プラン3.0南信州地域計画普及版に掲げる消防団員確保を進めるため、飯伊消防協会と連携し、団員募集の啓発物品(クリアファイル)を作成することとなった。 啓発物品は管内市町村、企業(消防団員応援ショップ)、飯田短期大学、管内高校3年生に配布し、勧誘活動や消防団のイベント時に利用してもらうほか、消防団応援ショップや学生に対しても配布を行い、関係機関と連携して消防団員確保を強力に促進する。</p> <p>【啓発物品】</p> <p>1 チラシ(消防団員募集) A4判縦・両面・カラー 1万枚</p> <p>2 クリアファイル(消防団員募集) A4判縦・両面・カラー 1万枚</p> <p>【配布計画】</p> <p>① 管内市町村 ※内訳は別添のとおり 各団の消防団員条約定数の2倍の数を配布(希望がある市町村には追加配布) 6,332枚≒6,500部</p> <p>② 企業 ※消防団員応援ショップ(管内135店舗) 10部×135店舗=1,350枚≒1,500部 ※郵送料(10枚の場合) 390円 390円×135店舗=52,650円</p> <p>③ 学校 ※管内の短大生、高3生(公立(全日・定時)、私立) 1,724人≒2,000部</p>					
	事業期間	令和6年1月			～	令和6年3月	
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考			
	消防団員募集啓発	啓発物品の作成・配布 (クリアファイル、チラシ)	394,570	<ul style="list-style-type: none"> 啓発物品デザイン費(クリアファイル、チラシ) 88,000円 オリジナルクリアファイル作成費 1万枚 280,170円 チラシ作成費 1万枚 26,400円 			
	消防団員募集啓発	啓発物品の郵送料	37,310	<ul style="list-style-type: none"> 郵便代(普通・定形外・250g) 250円 消防団応援ショップ 管内135店舗 250円×135店舗=33,750円 その他郵送=3,560円 			
	合計		431,880				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	管内消防団の令和6年度新規入団者数(過去5年平均加入者数:200人)		201人以上	199	未達成		

<p>事業実績 ・ 成果</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度新規入団者数は199人と目標値の201人にわずかに及ばなかった。 ・作成したチラシ・クリアファイルについては、県のPRキャラクター「アルクマ」や管内市町村の消防団マークを取り入れることで、地域性と親しみやすさを表現し、年齢を問わず地域住民に訴求するデザインとすることができた。 ・市町村消防団・消防団員応援ショップ・管内の高校及び短期大学等に本取組の趣旨を理解いただけたことで、10,000万部のチラシ・クリアファイルを配布でき、消防団募集啓発を行うことができた。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度新規入団者数は、わずかに目標値に及ばなかったが、管内の人口が右肩下がりにある中、過去5年平均と同水準の加入者を確保することができた。また、本加入調査は5月当初に行っているが、消防団への加入は随時可能なため、作成したチラシ・クリアファイルを活かしながら、年度途中の加入者増に期待したい。 ・チラシ・クリアファイルについては、飯田合同庁舎内設置用にも525部を用意し、来庁者が自由に持ち帰られるようにしたが、設置から約1カ月で300部が持ち帰られており、継続的な啓発活動を行えている。
<p>今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度能登半島地震では、山間部の道路が寸断されるなどにより、救助活動が困難を極めた。当地域も海を除けば、能登と同じように山間の地域が多い。近年は大雨による土砂崩れが毎年のように発生し、孤立集落になるケースもあるが、その際に地域の強い力になるのは、地元の事をよく知る消防団である。 ・令和6年度に入ってからチラシ・クリアファイルを市町村新規研修会等で配布を行った。また、今回作成したデザインについては、当局に権利を帰属させており追加作成も可能な体制となっている。引き続き関係機関と連携し、消防団員の加入促進を行っていく。